

平成25年度 社会福祉法人 誠心会（誠心寮）事業報告

《総括》

社会福祉法人誠心会としては「ともに生き合い育ち合う関係づくり」をめざし事業を行いました。主としては誠心寮の運営であり、平成25年度の平均入所児童数は44.6名で運営的には安定した状況でありました。入退寮及び一時保護児童等の状況では入寮児童10名、退寮児童11名、一時保護児童6名、ショートステイ6名でした。入寮児童においては例年同様、様々な理由がありましたが、家庭環境が複雑であることや何らかの虐待を受けたと思われる子ども達の入寮が殆どでありました。退寮児童については、高校を卒業して進学または就職の児童、また家庭引取の児童でありました。もちろん、退寮後の子どもへの不安はありますので、アフターケアを十分に行っていく必要はあります。

家庭復帰については、6名の子どもが再び家庭に戻る事が出来ました。ただ、引き取りは早期すぎると思っている親の強い希望により引き取りとなるケースや、引取後の子ども及び家庭の状況が心配なケースが多いため、アフターケアを十分行っています。今後もこのようなケースが継続することが想定されますので、保護者、子ども相談センター、施設職員での話し合いを定期的且つ積極的にいき、子どもの為にはどの方向性が良いのかを3者が納得できるようにしていきたいと考えております。

また、前年度と同様に、保護者に対し子どもの毎学期の報告や当寮並びに学校等の行事案内の通知を行い積極的に参加して頂いており、帰省についても正月・盆・春休み・ゴールデンウィーク等を実施し、土日も許す限り帰省出来るようにしております。さらに、家庭での養育並びにその為の環境整備にもファミリーソーシャルワーカーを中心として積極的に相談等に応じ、親の精神的部分での問題が多い中、家庭復帰の条件が整うよう子ども相談センターと協力し積極的に取り組みました。

寮内行事では第33回ふれあい広場を始めとして夏のキャンプや春の遠足等、例年通り無事に終了することができました。ふれあい広場では、子ども達が一生懸命準備し、地域の皆様方やボランティアの方々、また子ども会、PTAの方々や地域の機関・団体の関係各位のご協力によって盛大に開催し終了することができ、参加いただいた地域の皆様に少しでも感謝の気持ちが伝わり、また「児童養護施設」を知って頂けたかと思っております。また夏のキャンプでは、限られた予算の中で、グループ毎でメニューを決めて工夫をして食事を上手に作り、子ども達にとって良い経験と思い出になりました。

寮内児童の状況は比較的安定した状況ではありますが、在籍児童の中で被虐待児が多いのは勿論、発達障がいを持った子どもも増加してきている現状です。小学校・中学校・高等学校で8名が特別支援学級及び特別支援学校高等部に在籍しました（平成25年度）が、理解力・記憶力・集中力が乏しく、それに伴ってコミュニケーションが上手くとれない為に寮内で他の児童たちとのトラブルが多く、職員が対応に苦慮している姿が多く見られました。また学校生活についても学校の先生方に尽力して頂いておりますが、多々迷惑をかけているのが現状であります。その子ども達を含めた全児童のケアに関しては、指導員・保育士を中心に最善は尽くすもののやはり職員の人数や勤務的な限界、また専門的な知識の不足等もあり、心理療法とも連携をとりながら指導・支援等しているものの行き届かない状況があります。

学習面でも学習ボランティアや家庭教師の方の協力を頂いている状況ですが、全体的に遅れている児童が多い現状が続いております。ただ、平成24年度末より継続している、算盤のボランティアでは、平成25年度は週3回、小学生低学年の児童を中心に指導頂き、

級に合格する子どもが出るなど成果が少しずつ出ております。

平成 25 年度末においての中学 3 年生及び高校 3 年生の状況では、中学校を卒業した児童 4 名全てが高校へ進学、また高校を卒業した児童 4 名の内 1 名が短大へ進学することが出来ました。

子ども達による自治会活動では、平成 25 年度中において多数自治会を持つことが出来ました。主には寮内の行事について話し合うことが多く、子ども達の生活という部分での話し合いというところまでは至りませんでした。ただ、定期的に開かれることが子ども達の中で定着してきたと感じております。勿論、子ども達が主体となって話し合いをしたり、意見を聞く場ではありますが、行事の為だけではなく自分たちの生活の向上のための話し合いが出来るよう職員も出来る限り参加し、率直な意見が交わせるように支援していきたいと考えております。

保育士・指導員を中心とした資質向上のための研修への積極的参加ですが、昨年度と同様に数多くの研修への参加出来ました。子ども達へのケアの質の向上の為に吸収した知識・技術を実践に役立てております。また、平成 25 年 10 月より実施している施設内研修は各月 1 回行い、平成 25 年度においては 6 回実施することが出来ました。「施設職員とは」「チームワークとは」等、基本的な事から、実践的な事まで丁寧に講義を頂き、確実に子どもへの対応に役立っております。ただ、残念ながら小規模化、地域分散化した施設への見学が出来ませんでしたので、次年度は実施したいと考えておりますし、施設内・外の研修へ積極的参加を促していきたいと考えております。

これら上記の取り組みによる職員の負荷軽減に考慮しリフレッシュ休暇や誕生日休暇を奨励し、勤務体制が困難な中、職員が協力し合い、ほぼ全員の職員が長期休暇を取得することが出来ました。次年度も充実した業務を行える事を前提に継続していきたいと考えております。

施設整備では、小規模グループケア実施のための改修工事を実施し、無事に完了しました。しかしながら、職員の退職者が予想以上に多かった事から、平成 26 年度小規模グループケアの実施は見送りとさせていただきます。平成 27 年度の実施に向けて人材の確保・育成に努めていきます。

児童の安全管理及び衛生管理については例年通り避難訓練、うがい手洗いや予防接種等の慣行を実施し、大きな事故や感染症もなく過ごすことが出来ました。

以上が平成 25 年度の事業報告ですが、このように事業を行えるのも地域の皆様を始め、関係機関・団体の方々のお蔭であります。改めて感謝申し上げます。

《子どもへの支援向上対策事業》

養護内容の充実強化

- ◇集団養護を推進する上で重要なのは子どもと職員を含めての話し合いです。行事（学校、スポーツ少年団、子ども会、ショート里親事業等）の連絡調整や日常の生活の支援に追われて、これまで本当の話し合いにならなかったが、昨年度より始めた自治会において、少しずつではあるが話し合いの形は出来つつあります。ただ、行事等の話し合いが中心であり、「生活」の部分には至っていないのが現状です。「ひとりの悲しみがみんなの悲しみ」になっていくよう、職員でも自治会を検討し継続して取り組んでいくことが重要です。
- ◇親子関係の再構築については、地域行事、特に学校行事について入所児童の親に連絡し、出来る限り参加できるよう促し、積極的に参加するよう働きかけてきました。結果として多数の保護者の方が学校等に足を運び、学校生活等の様子を見ていただきましたが、家庭復帰に繋がるどころまでは至っておりません。継続していき子どもの成長を伝え、保護者の心（母性や父性等）に訴えかけていくことが重要であると考えております。併せて家庭支援専門相談員を中心として親子関係の再構築及び家庭復帰に努めていきます。
- ◇高校進学については中学 3 年生 4 名全員が高校進学することが出来ました（各務野高校、岐阜第一高校、城南高校、大垣工業高校定時制）。は就職となりました。また、高校 3 年生 4 名の進路については、1 名が修文短大幼児教育学科に進学、3 名は就職（老人保健施設養老の郷、ティンカーベル（ペットショップ）、丸徳産業(株)）することが出来、無事に卒業することが出来ました。
- ◇実習生及びボランティアの受け入れについては、希望があり、又受け入れ上問題がない限り、積極的に受け入れてきました。実習生については、岐阜聖徳学園大学、中部学院大学を中心に多数の実習生を受け入れました。またボランティアでは、今年度も散髪のボランティアがあり、寮としても運営上、大変ありがたいことでした。学習ボランティアでは、聖徳学園大学短期大学部の学生に学習指導をしていただきました。次年度も継続予定であります。
- ◇児童の権利擁護としての取り組みとしては、提案箱の活用を採用しています。ただ、提案箱には殆ど入っていない状況でした。理由としては、定期的にかいている自治会が大きく影響していると考えます。みんなで集まって話し合える場を設けたということが定着しただけでも子ども達にとっては、安心感（困った事があれば自治会でという気持ち）が出来てきたように感じます。ただ、行事等の話が主であり、「生活」という部分での話し合いには至っていないので、これから少しずつ、子どもの権利擁護も交えながら、職員と子ども達が率直に意見を言い合える場にしていきたいと考えております。
- ◇虐待を受けた子どもの入所（施設判断）が多いことについては、大変処遇が困難であるのが現状です。短期間で治癒するものではないので心理療法担当職員、指導員、個別対応職員、保育士が連携し、長期の視点をもち、子どもが少しでも将来に向かって

前向きになれるよう、心のケアに努めていきます。

- ◇地域活動等には積極的に参加しております。地域の行事や市の行事等にも積極的に参加をしてまいりました。ただ、スポーツ少年団に多数の小学生が加入していることもあり、誠心寮児童が休日には揃わないという現実もあります。寮全体としての行事が組みにくいということもあり、寮内児童のまとまりが弱くなってきています。子ども達による自治会の重要性がますます高まってくると思われれます。
- ◇学校との連携については、穂積北中学校及び本田小学校との懇談会を今年度も誠心寮において開催しました。学校及び先生に児童養護施設を理解していただくうえで、大変重要であり、今後も継続していきたい。担当職員と学校の担任の先生の情報の共有化が重要である。
- ◇ショートステイ、トワイライトステイは今年度も実施し、出来る限りの子ども達を受け入れました。
- ◇職員の資質向上については、今年度も出来る限りの研修に参加をしました。ただ、勤務状況から、前年度より多くの研修への参加とまでは至りませんでした。ただ、平成 25 年 10 月より施設内研修を実施し、中村國之氏（乳幼児ホームまりあ 元院長）に月 1 回の講義をいただき、「施設職員とは」や「チームワークとは」の基本的な事から「施設の危機管理」や「愛着形成」等、広範囲にわたって職員に分かりやすく、また実践に役立つお話をいただきました。次年度も継続して行っていくと同時に、平成 27 年より実施予定の小規模グループケアに繋がる研修にしていきたいと考えております。

《事業向上対策事業》

会務の運営

①監事会の開催

(1)平成 25 年 5 月 18 日(土)午前 10 時より 於、誠心寮 事務室

◎監査事項

- ・平成 24 年度社会福祉法人誠心会事業報告について
- ・平成 24 年度社会福祉法人誠心会予算の流用・充当について
- ・平成 24 年度社会福祉法人誠心会収支決算について

②評議員会の開催

(1)平成 25 年 5 月 19 日(日)午前 10 時より 於、誠心寮心理療法棟

◎評議員定数 定員 17 名 13 名出席 監事 1 名出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会理事・監事の選任について
- ・平成 24 年度社会福祉法人誠心会事業報告について
- ・平成 24 年度社会福祉法人誠心会予算の流用・充当について
- ・平成 24 年度社会福祉法人誠心会収支決算及び監査報告について
- ・職員宿舎修繕について
- ・提案解決状況について

◎報告事項

- ・社会福祉法人誠心会(誠心寮)現況報告

(2)平成 25 年 8 月 4 日(日)午前 10 時より 於、誠心寮心理療法棟

◎評議員定数 17 名中 13 名出席 監事 1 名出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会定款の変更について
- ・職員宿舎修繕について
 - ① 設計監理業者について
 - ② 修繕工事請負業者の選定について
 - ③ 今後の工程について
- ・提案解決状況について

(3)平成 25 年 12 月 1 日(日)午前 10 時より 於、誠心寮心理療法棟

◎評議員定数 17 名中 14 名出席 監事 1 名出席

◎協議事項

- ・平成 25 年度社会福祉法人誠心会第 1 次補正予算について
- ・職員宿舎修繕進捗状況について
- ・提案解決状況について

◎報告事項

- ・誠心寮現況報告
- ・第 33 回ふれあい広場について

(4)平成 26 年 3 月 15 日(土)午前 10 時より 於、誠心寮心理療法棟

◎評議員定数 17 名中 14 名出席 監事 1 名出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会理事選任について
- ・平成 25 年度社会福祉法人誠心会第 2 次補正予算について
- ・平成 26 年度社会福祉法人誠心会事業計画について
- ・社会福祉法人経理規程について
- ・平成 26 年度社会福祉法人誠心会収支予算について

◎報告事項

- ・誠心寮現況報告について

③理事会の開催

(1)平成 25 年 5 月 19 日(日)午後 2 時より 於、誠心寮心理療法棟

◎理事定数 8 名中 8 名出席 監事 1 名出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会評議員の選任について
- ・平成 24 年度社会福祉法人誠心会事業報告について
- ・平成 24 年度社会福祉法人誠心会予算の流用・充当について
- ・平成 24 年度社会福祉法人誠心会収支決算及び監査報告について
- ・職員宿舎修繕について
- ・提案解決状況について

◎報告事項

- ・社会福祉法人誠心会(誠心寮)現況報告

(2)平成 25 年 6 月 1 日(土)

◎理事定数 8 名中 8 名出席 監事出席無

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会理事長の互選及び理事長職務代理執行者の指名について

(3)平成 25 年 8 月 4 日(日) 午後 2 時より

◎理事定数 8名中 8名出席 監事1名出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会定款の変更について
- ・職員宿舎修繕について
 - ① 設計監理業者について
 - ② 修繕工事請負業者の選定について
 - ③ 今後の工程について
- ・提案解決状況について

◎報告事項

- ・誠心寮現況報告について

(4)平成 25 年 12 月 1 日(日)午後 2 時より

◎理事定数 8名中 8名出席 監事1名出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会評議員の選任について
- ・平成 25 年度社会福祉法人誠心会第 1 次補正予算について
- ・職員宿舎修繕進捗状況について
- ・提案解決状況について

◎報告事項

- ・誠心寮現況報告

(5)平成 26 年 3 月 15 日(土)午後 2 時より 於、誠心寮心理療法棟

◎理事定数 8名中 7名出席 監事1名出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会評議員の選任について
- ・平成 25 年度社会福祉法人誠心会第 2 次補正予算について
- ・平成 26 年度社会福祉法人誠心会事業計画について
- ・社会福祉法人誠心会経理規程の変更について
- ・平成 26 年度社会福祉法人誠心会収支予算について
- ・提案解決状況について

◎報告事項

- ・誠心寮現況報告について